

21 地形図の使い方

p.93

確認問題

- | | |
|--------------|-------------|
| (1) 縮尺 | (2) 北 |
| (3) 田 | (4) 畑 |
| (5) 消防署 | (6) 郵便局 |
| (7) 工場 | (8) 発電所 |
| (9) 図書館 | (10) 老人ホーム |
| (11) 風車 | (12) 〇 |
| (13) A | (14) 等高線 |
| (15) 計曲線 | (16) 主曲線 |
| (17) ゆるやかになる | (18) ①谷 ②尾根 |
| (19) 空中写真 | |

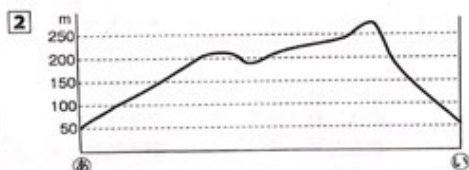
解説

- (2) 上は北、下は南、右は東、左は西を示す。
 (3) 稲を刈り終わった状態を圖案化したもの。
 (4) 芽が出て双葉になった状態を圖案化したもの。
 (5) かつて火を消すために使っていた「さすまた」を圖案化したもの。
 (6) 郵便のマークを丸で囲って圖案化したもの。
 (7) 機械に使われる歯車を圖案化したもの。
 (8) 歯車と電線を組み合わせて圖案化したもの。
 (9) 本を開いた状態を圖案化したもの。
 (10) 建物とつえを組み合わせて圖案化したもの。
 (11) 風力発電用の風車を圖案化したもの。
 (12) りんごなどの実の形を圖案化したもの。
 (13) すぎなどを横から見た形を圖案化したもの。
 (15) 5万分の1の地形図は100mごと、2万5千分の1の地形図は50mごとにひかれている。
 (16) 5万分の1の地形図は20mごと、2万5千分の1の地形図は10mごとにひかれている。
 (17) 間隔がせまいほど傾斜は急になる。

p.94

図表チェック

- 1 A 田 B 小・中学校
 C 神社 D 寺院
 E 畑 F 広葉樹林
 (1) 北西 (2) 2000m
 (3) 谷 (4) 扇状地



- A 等高線 B 広い

- C ゆるやか D せまい
 E 急

解説

- 1 C 鳥居の形を圖案化したもの。
 D 仏教で使われる「まんじ」を圖案化したもの。
 (1) 方位を示す記号がないので、上が北を示す。「おうみなかしょう」駅から見てPは左上に位置するので、北西となる。
 (2) 実際の距離は地形図上の長さ×地形図の縮尺の分母で求める。地形図の縮尺が2万5千分の1なので、 $8(\text{cm}) \times 25000 = 200000(\text{cm}) = 2000(\text{m})$ となる。計算するときは単位に注意する。
 (3) 標高が高い側から見てVの字に曲がっているところは谷、逆の方向に曲がっているところは尾根になる。
 (4) 川が山間部から出てきたところから扇の形のように広がる地形なので、このようによばれる。扇状地は日当たりが良く水はけも良い土地が広がるので、果樹園に利用されることが多い。
 2 A 等高線を見ることで土地の高さや起伏のようすがわかる。
 B~E 等高線の間隔からその場所の傾斜を読み取ることができる。

p.95

必修問題

- 1 (1) A 針葉樹林 B 郵便局
 C 消防署 D 工場 E 高等学校
 F 老人ホーム
 (2) 1250m
 (3) 南西
 (4) ア
 (5) (例) 山の斜面が切り開かれ、直線状の道路が整備されているから。

解説

- 1 (2) $5(\text{cm}) \times 25000 = 125000(\text{cm}) = 1250(\text{m})$ 。
 (4) アP地点は290m、Q地点は370m。線の太い計曲線を基準にすると分かりやすい。イVは畑を表す。ウXの方が間隔がせまいので、急である。エこの地形図では、左(西)の方が右(東)よりも標高が高いので、川は西から東へ流れている。
 (5) 周りとは違い傾斜が見られない平地で、格子状に道路がつくられていることから、人工的に斜面が切り開かれて整備された土地であることがわかる。